

# 週間漁海況情報—第5号

平成24年2月6日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究所

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H24.2.6)を示した。

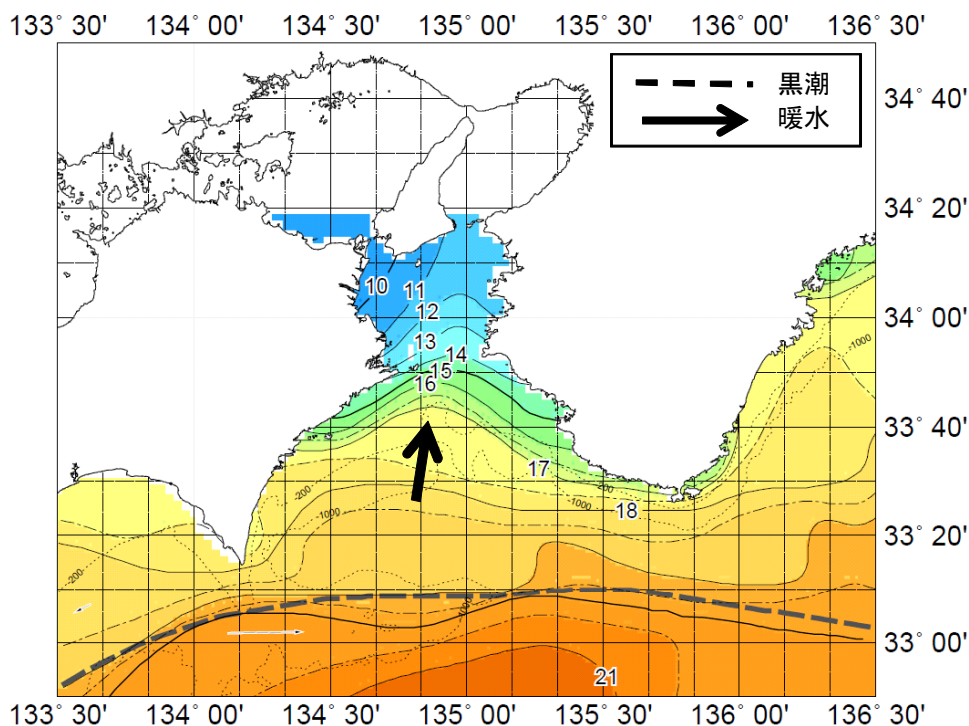
黒潮は、室戸岬および潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9℃台、紀伊水道で10～14℃台、海部沿岸で14～17℃台である。

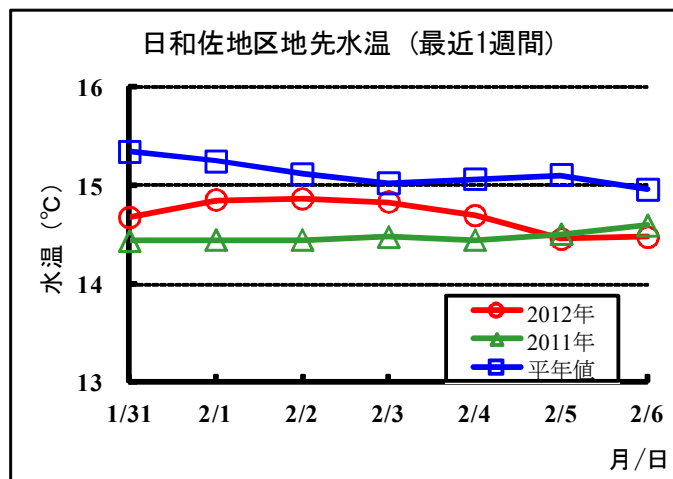
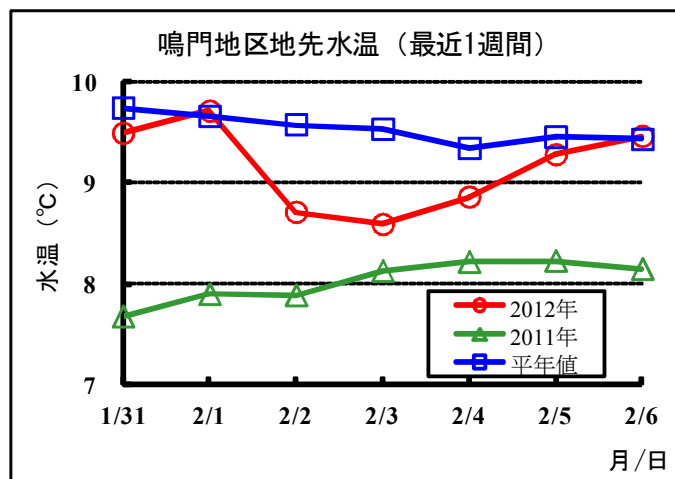
紀伊水道外域では、室戸岬と潮岬を結ぶ中央付近から北向きに緩やかな暖水流入がある。

紀伊水道外域の徳島県沿岸では内海系水の南下がみられ、海部沿岸上灘まで16℃以下の内海系水に覆われている。

内海系水と黒潮系暖水との潮境が、伊島の南方に形成されている。



**地先水温** 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「平年並み」の8.6～9.7℃、日和佐地区で「やや低め」～「平年並み」の14.5～14.9℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の15.0～15.9℃で推移した。



\* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め(やや低め)：±0.50～1.49、高め(低め)：±1.50～2.49、かなり高め(かなり低め)：±2.50以上

## 2. 漁況の経過

**延縄**：海部沿岸で大・小主体にサバフグが0.7トン（1日1隻当たり25kg）、大主体にアマダイが0.2トン（同8kg）水揚げされた。

**建網**：海部沿岸で中主体にヒラメが0.4トン（同7kg）水揚げされた。

**小型定置網**：海部沿岸で、アオリイカが0.8トン（同9kg）、カタクチイワシが0.7トン（同22kg）、キビナゴが0.2トン（同29kg）、メジナが0.3トン（同14kg）水揚げされた。

**釣り**：海部沿岸で大主体にアオリイカが0.9トン（同8kg）、中・特大・大主体にマサバが0.8トン（同23kg）、大主体にゴマサバが0.8トン（同28kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 1月30日～2月5日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	29	721	25	大・小主体
		アマダイ	30	248	8	大主体
建網		ヒラメ	59	389	7	中主体
小型定置網		アオリイカ	98	847	9	
		カタクチイワシ	32	716	22	
		キビナゴ	8	234	29	
		メジナ	20	273	14	
		釣り	アオリイカ	105	854	8
		マサバ	37	838	23	中・特大・大主体
		ゴマサバ	30	844	28	大主体

**昨年同時期の主な漁獲傾向**：昨年1月31日～2月6日の海部沿岸では、延縄で大主体にアマダイが0.4トン、カワハギが0.4トン、大主体にサバフグが0.2トン、中主体にタチウオが0.8トン、建網で大・小主体にゴマサバが0.5トン、中主体にヒラメが0.5トン、小型定置網でアオリイカが1.0トン、キビナゴが0.3トン、小主体にマルアジが0.2トン、マアジが0.2トン、釣りで大主体にアオリイカが1.3トン、大主体にゴマサバが3.4トン、小主体にマサバが0.8トン、メジロが0.3トン、紀伊水道では、釣りでサバフグが0.2トン水揚げされていた。

**週間予報**：黒潮は、室戸岬沖では「やや離岸」から「接岸」、潮岬沖では「やや離岸」で推移する見込み。海部沿岸上灘では、内海系水に覆われる見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の9℃台、日和佐地先は「平年並み」の14℃台で推移する見込み。